

事業名

読み困難等のある若者の自己理解と主体的な学びを支える情報アクセス支援モデルの構築に関する調査研究

事業の趣旨・目的

読み困難等のある若者が、ICTを活用し、移行期においても主体的に学びを継続できるよう、当事者調査を通して「情報アクセス支援モデル」を構築する。

事業実施体制・連携先

事業実施団体：認定NPO法人エッジ

- ・慶応義塾大学障害学生支援室 教材調査を協働で実施
- ・東京都小金井市教育委員会 ・NODE 若者の当事者ネットワーク

主な対象

発達障害 (学習障害 (ディスレクシア))

活動分野

学習/情報保障/普及啓発

事業内容

- ① 読み困難等のある若者を対象としたアンケート調査の実施
- ② 当事者および支援関係者へのインタビュー調査
- ③ 音声教材やICTツール等を活用した学習事例の整理
- ④ 調査結果を基にした情報アクセス支援モデルの構築
- ⑤ 成果の整理および関係者への共有

事業終了後の目指す方向性

- ・移行期の学びを支える支援モデルの構築
- ・大学や地域の学習支援機関で活用可能な指針の実践
- ・読み困難のある若者の生涯学習環境の改善

その他

読み困難のある当事者への相談支援やアセスメント、音声教材等の活用支援、支援者養成等の活動を行ってきた。また制度改善に関する取組にも関わりながら、読み困難のある人の学びの環境づくりに取り組んできた。 <https://npo-edge.jp/about-edge/> 認定NPO法人エッジ 概要

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm 文部科学省 音声教材